

消防団を通して守りあう

三和中学校 二年 井山 紅百利

「ウーウーウーウー」

この音と共に私の地区の一月は始まる。

毎月一日の朝六時。消防団の方が鳴らすサイ

レンの音だ。これから、消防器具の点検が始

まる事を知らせるこのサイレンの音は、毎月

一日に必ず私の地区で聞こえている。

朝、早い時間に、このサイレン音がなると

地区の中には、「うるさいなあ」と感じる人

熊本市立三和中学校

がいるかもしれない。でも、私はこのサイレ

ン音を聞くと、「守られているなあ」と感じ

る。私の地区では、ここ何年も火事が起きて

いない。しかし、他の地区で火事が起きると

私の地区の消防団はすぐに出動する。そんな

時、現場で私の地区の消防団が活躍している

んだと思うと、「ちよっ」とうれしくなる。

そんな風に、私たちをいつも守ってくれて

いる消防団の方と年に一度活動する機会があ

ります。

十二月二十八日。火の用心です。
夕方から拍子木を首からさげ、子ども会と
消防団の方で、
火の用心。カチカチ。マッチ一本火事の元
カチカチ。
というふうにして、歩いて地区を周ります。
夜周りが終わったら後は、お母さん方が作っ
てくれている肉うどんを公民館で食べます。
年で一度きりの行事ですが、地区のみんなが
一丸となって取り組める行事の一つです。



熊本市立三和中学校

他にも、数カ月に一回のペースで回ってく
る夜まわりに参加したり、毎年出初め式に参
加したりと私の地区の消防団は毎年とても活
躍しています。
ふだんは、ふうの仕事をしている人が、
地区の消防団という仕事もかけ持ちして、日
々私たちを守ってくれている事に感謝して生
活していきたい。
そして、この地区では、火事が絶対に起き
ないように、火などを使う時はしっかりと決

まりを守りたい。

毎日、私たちを守ってく
くれる消防団の方に
この地区に住む一人一人
が感謝の気持ちを持
ち、私たちも、がんばる消
防団の人を温かく見守
れる地区でありたいです。



熊本市立三和中学校